

「別海町歴史文化遺産を巡る（戦争遺産編）」

- 日時 令和7年8月23日（土）午前9時～13時 ●場所 郷土資料館・町内戦争遺産
- 内容 お話「別海町歴史文化遺産について」
見学・解説（見学順）
 - ①「軍馬補充部之跡」の碑（軍馬補充部跡周辺）②旧柏野尋常小学校奉安殿
 - ③旧陸軍計根別第一飛行場1号有蓋掩体（飛行場跡周辺）
 - ④在日米軍偵察爆撃機RB29 プロペラブレード ⑤旧国鉄標津線床丹3の川鉄橋米軍機空襲跡
- 参加者 11名
- 講師 郷土資料館 文化財担当主幹 戸田博史、地域おこし協力隊員 近藤信宏

はじめに室内にて、見学する戦争遺産の歴史的背景、地域住民との関わり合い、残された経緯、保存の取り組みなど詳細な説明を受けました。その後、車にて移動し、①～⑤の順で見学を行いました。

①「軍馬補充部之跡」の碑を見学し、西春別に残る官舎や周辺の土塁跡を車内から見学しました。②旧柏野尋常小学校奉安殿では、現存する校門から児童が登校する場合の一連の流れが、参加者の経験談から語られました。③旧陸軍計根別第一飛行場1号有蓋掩体では、飛行場周辺に残る遺構を見ながらの見学となり、草地内に撤去されずに残されている格納庫のコンクリート残骸をまじかに見ることが出来ました。④在日米軍偵察爆撃機RB29 プロペラブレードでは、RB29が墜落した涌田さんの家付近を車内から見学し、大きなプロペラブレードを実見しました。⑤旧国鉄標津線床丹3の川鉄橋米軍機空襲跡では、銃痕跡を見ることが出来ました。室内での詳細なお話と現地での説明により、戦争遺産に対する理解が深まりました。

●参加者の感想

- ・普段通っている所なのに、こんなのあったんだと驚きました。かなりたくさん戦跡残っていることにもびっくりした。
- ・こんなに何か所も文化遺産があるとは知りませんでした。1人では絶対行かない場所ですね。ありがとうございました。別海は本当に広いです。
- ・80年前にどんな事があり、どんな風になっていたかなど、思いをめぐらせる事が出来た。
- ・別海町内に戦争にまつわるものがたくさんあることに驚きました。保存・維持等課題はあると思いますが、後世に継いでいくことが大事だなと改めて感じました。めったに見られない場所もあり、道外から来た者には貴重な体験でした。

